

〔国 語〕

○ 実施時間 【8:30~9:20】(50分)

○ 次の注意をよく読んでおくこと。

- (1) 「始め」の合図があるまで問題用紙を開かないこと。
- (2) 問題は 一 ~ 三、18 ページまであります。
- (3) 答えはすべて解答用紙の解答らんにはっきりと、ていねいに書きなさい。
- (4) 答えを直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- (5) 内容に関する質問は受け付けません。
- (6) 気分が悪くなったり、トイレに行きたくなったりしたら、手をあげて^{かんとく}監督の先生に合図しなさい。
- (7) 「終わり」の合図があったら、直ちに筆記用具を置き、解答用紙が回収されるまで待っていなさい。
- (8) 解答上の注意
 - ・ 字数指定のあるものは、句読点〔。、〕および「」や（ ）なども一字と数えること。なお、一マスには一字しか入れられません。
 - ・ 文末表現は、「こと」、「から」など、問いにふさわしい形にし、文の終わりに句点〔。〕をつけなさい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

一 次の——のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① コキョウを出てドイツに留学する。
- ② 漢字の筆順をチュウジツに守る。
- ③ 万歳をシヨウワする。
- ④ チクバの友は大切にすべきだ。
- ⑤ 南国のヨウコウを浴びる。
- ⑥ 気体の温度を下げてエキカさせる。
- ⑦ 書類をケツサイする。
- ⑧ 議論をつくしたが、同じところにキケツした。
- ⑨ ボウサイ意識を高めることが大切だ。
- ⑩ この冬は近年にないカンペが日本を襲った。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「男はソト、女はウチ」という言葉があります。男性は外で仕事をして稼ぎ、女性は家にいて子育てをし、教育をし、夫の世話をし、家事をこなし、老親の介護など身内の面倒をみるという、伝統的な性別分業を指しています。仕事を「ものをつくる」労働だとすれば、子育てや教育、家事、介護などは「ひとをつくる」労働と言えるでしょう。私たちが生きていくうえで「もの」と「ひと」をつくる営みは基本であり、どちらも欠けてはならない重要な労働です。

1 二つの労働への評価は、いまだに均等ではなくかなり非対称的です。学校で子どもを教える教員は労働者として対価が支払われています。また施設や地域における高齢者ケアサービスも介護労働として認められ、不十分な額ながらも対価が支払われています。それに対して主婦の子育てや教育、老親の介護は「アンペイド・ワーク（支払われない労働）」であり、無償の奉仕となつています。夫が得る賃金が夫婦や家族のために使われているのだから問題ないだろうと思うかもしれませんが、でもそれは伝統的な性別分業に組み込まれたジェンダー労働をめぐる非対称性をそのまま承認するという「思い込み」にすぎません。

A かつてフェミニズムという女性解放運動が進められる過程で、主婦労働にいくら支払われるべきかを計算されたことがありました。当時と今のお金の価値は異なっていますが、月額として三〇万円かそれ以上であったと記憶しています。当然、今もそうですが、夫が外で得る賃金の中には、妻の労働への対価は含まれていません。もしそうであれば、夫へもっと多くの賃金が支払われなければならないでしょう。あくまで企業の利潤追求に必要な労働の対価として夫に賃金が支払われているのです。配偶者や子どもの扶養手当がありますが、それはせいぜい月数万円という額であり、家庭生活への補助であるとしても、「支払われない」主婦労働への対価などでは決してありません。

B 2 どのようにすれば、主婦労働に象徴されているジェンダーをめぐる労働のアンバランスは解消できるのでしょうか。主婦が家事から解放される技術革新を進めればいいし、女性がもっと社会へ進出し、仕事ができる環境や仕組みをつくれればいい。そんな声がかきこえてきそうです。C 実際さまざまな形で女性の社会進出は進んでいますし、最近のテレビを見ても、以前で

あれば「男の職場」のイメージが強かった建設業や運送業などのコマースに若い男性が管理職として活躍している姿が登場しています。D 女性を必要とし女性が活躍できると主張する職種や企業が増えているといえるでしょう。

でも女性が「ものをつくる」労働者として本格的に活躍する社会を実現するためには、まだまだ多くの法律や制度を社会実現に見合うように変えていく営みが必須です。

3 選択的夫婦別姓という法案ですら成立していないのが現状なのです。女性の社会進出、女性が活躍する社会が政治のスローガンとして叫ばれる現状であっても、私たちの日常には、ネットでの#MeTooや#KuTooという異議申し立て運動に象徴されるように、女性に対して、まだまださまざまな差別やハラスメント、^E「生きづらさ」が満ちています。その背後でしつかりと息づいているのが、伝統的で因習的なジェンダーをめぐる知や規範です。男による女の支配を前提とし、あらかじめ生活の全般にわたって非対称性が組み込まれた性別分業なのです。

③ ただ私は同時に、今の世の中で、ジェンダーをめぐる「あたりまえ」が変貌し始め、伝統的で因習的な価値や理念も少しずつ崩壊しつつあるのではないだろうかとも思っています。しばらく前に「イクメン」という言葉が持て囃されました。「イクてる男性IIイクメン」にかけて、「育児に積極的に協力する男性IIイクメン」ということですが、この言葉には、育児をする男性がかっこいいと、ことさらに評価するという意味が込められています。雑誌で「イクメン」のかっこいい姿を特集したり、少しでも若い男性の関心を育児に向けさせようという「下心」が、この言葉から透けてみえます。でもなぜ、そのような「下心」が必要なのでしょう。やはり子育てや子どもの教育で、夫が圧倒的に非協力的であるという頑丈な壁に、小さな穴をあけ、壁を崩していききたいという女性たちの「暮らしをかけた思い」があるだろうと思います。

④ 最近、電車の中などで、抱っこひもで赤ん坊を抱いている若い男性、バギーに幼い子を乗せ、あやしている男性の姿をよく見かけるようになった気がします。⑤ 以前ほど「イクメン」という言葉が日常で聞かれなくなったように感じます。赤ん坊を抱っこしている男性たちを見ると、ことさら「イクメン」だと呼称する必要も必然も感じないし、彼らも自分たちを「イクメン」だと思っていないように感じます。4 若い夫が子育てに協力する姿、積極的に自分の子を育てる男性の姿は、特別でもなんでもない、夫婦として子育てしていく「あたりまえ」の営みだという了解が、今の世の中に流通し始めているように思います。

テレビでも、以前であれば、必ず主婦姿の女性が登場していた冷蔵庫や洗濯機などの家電製品、台所用洗剤や洗濯用洗剤、簡単に調理できる合わせ調味料など生活用品のコマーシャルに家事をする男性が登場しています。

私たちは、日常におけるこうした微細な変化により注意を払うべきでしょう。伝統的で因習的なジェンダー知、ジェンダー規範という堅牢な壁も、微かなひびが入ることで、決定的な崩壊へ向かうことがあるからです。そして壁を崩壊させ、新しいジェンダー知や規範を創造するために、どうしても必要なプロセスがあります。それは男性の「意識」変革です。5 男性に夫婦や家族の一員として、「ひとをつくる」労働のもう一人の主体としての姿を具体的にイメージさせることです。その姿がパートナーや家族との共生にとって必須であり、仕事だけしておけばいいのではなく、そうした実践を重ねることでより魅力的で、懐の深い人間として日常生活を送ることができると、男性自身が心底から気づき認めることが重要です。

もちろん、この「意識」変革は、男性にだけ必要なものではありません。男性に従属することで得られる秩序や安定感に安住したり、そうした日常や暮らしは致し方がないと考えてしまう女性の「意識」変革もまた、必要なのです。

(好井裕明『他者を感じる社会学』筑摩書房より)

注1 非対称的……二つのものつりあいとれていない状態。

注2 対価……ここでは、労力を提供した報酬として受け取る利益のこと。

注3 ジェンダー……歴史的・社会的・文化的につくられる男女の差。(男らしさ)や(女らしさ)など。

注4 スローガン……団体や運動の主義・主張を簡潔に言い表した語句。

注5 #MeToo……「私も。」という意味で、性暴力などの被害を多くの人が告発することで世の中を変えていこうとする社会運動。

注6 #KuToo……日本の職場で女性がハイヒールなどの着用を義務づけられていることに抗議する社会運動。

注7 ハラスメント……いやがらせ。

注8 因習的な……昔から続いているしきたりのような。

注9 規範……行動・判断・評価などのよりどころとなる手本。

注10 バギー……うばぐるま乳母車。

注11 秩序……順序やきまり。

問1 1～5に入る言葉をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使ってもかまいません。

ア では イ または ウ つまり エ しかし
オ けっして カ あたかも キ もし

問2 ①の内容が最も具体的に説明されている一文を本文中から探し、初めの五字を答えなさい。

問3 A～Eの各文のうち、文脈から考えると誤っている言葉が1カ含まれている文はどれですか。A～Eの記号で答えなさい。

問4 ②「そう」が指す内容を、「くということ。」につながるように三十字以内で答えなさい。

問5 ③のような変化が起きるためには、何が必要だと筆者は考えていますか。十五字以内で答えなさい。

問6 ④とは、どのような「思い」ですか。「くという思い。」につながるように三十字以内で具体的に答えなさい。

問7 ⑤の理由として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 「イクメン」に関することが、あまり雑誌で特集されなくなってきたから。
- イ 男性が子育てをすることは「あたりまえ」だという考え方が、世間で広まってきたから。
- ウ 男性たちが、「イクメン」と呼ばれることに対して強い違和感いわかんを持つようになってきたから。
- エ 育児に積極的に協力する男性の数が、全体的に減少してきているから。
- オ 時代の急速な変化とともに、「イクメン」という言葉の意味も急速に変わってきたから。

問8 次のア～オのうち、本文の内容にあてはまるものをすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の伝統的な性別分業は、男女の身体の仕組みの違ちがいに合わせておこなわれてきた。
- イ 女性の活躍する社会が政治的に叫ばれている現状であっても、女性に対する差別は依然いぜんとして存在している。
- ウ 「イクメン」と呼ばれる男性が増えれば増えるほど、男性の女性に対する理解は深まる。
- エ 以前は必ず主婦姿の女性が登場していた家電製品や生活用品の宣伝に、家事をする男性が登場してきている。
- オ 伝統的で因習的なジェンダー規範を変えるためには、まず政府が具体的な政策を示す必要がある。

問9 本文では、「ジェンダーをめぐる労働のアンバランス」に関する内容が述べられていましたが、次の表は、世界経済フォーラムが二〇二二年三月に公表した、世界各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数を表したものです。この指数は、「経済」「政治」「教育」「健康」の四つの分野のデータから作成され、値が0に近づくほど男女格差が大きく、1に近づくほど男女格差が小さいということを示しています。表について述べた後のア～カのうち、正しいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ジェンダーギャップ指数(2021) 上位国及び主な国の順位				
順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	-
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	-
87	ベトナム	0.701	0.700	-
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アンゴラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

内閣府 男女参画局ホームページより (2021/7/27 閲覧)
https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2021/202105/202105_05.html

- ア ドイツと米国と日本を比べると、日本における男女格差が一番小さい。
- イ インドネシアだけが、前年よりもジェンダーギャップ指数の値を下げている。
- ウ 韓国や中国、タイやベトナムやインドネシアなどのアジア諸国と比べてみると、日本の男女格差が小さいとは言えない。
- エ ロシアはドイツとカナダよりも男女格差が小さいと言える。
- オ アイスランド、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンなどの北欧の国々は、諸外国に比べて男女格差が大きい。
- カ G7(ドイツ、英国、カナダ、米国、フランス、イタリア、日本)の中では、日本が最も男女格差が大きい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

青海学院高等学校の放送部では、二年生と三年生の部員がそれぞれ全国大会予選に応募するための放送作品を作ることとなっていた。二年生は「ラジオドキュメント部門」「テレビドキュメント部門」両方に応募するため、作品を二本仕上げたが、三年生は、音声のみで作られた作品を審査する「ラジオドラマ部門」への応募をあきらめてしまっていた。そこで、一年生の正也、久米さん、「僕」が代わりに中心となって制作にとりかかり、三年生はその手伝いをするという形で「ケンガイ」という作品をようやく仕上げる事ができた。

「正也から選べよ。」^①「一番活躍したんだから」

自然と出てきた言葉に、久米さんも頷いてくれた。

「じゃあ、遠慮なく。先輩たち、お先です」

正也は調子よく立ち上がって、箱の中身を物色し、チョコレートの上に金粉がまぶされているケーキを選んだ。二番手を女子の久米さんに譲ると、久米さんはシンプルなイチゴのショートケーキを皿にのせた。もつと豪華なのにすばいものと思いつながら、僕はメロンのタルトを手にとった。

久米さんが箱を二年生の方に回した。

しまったあ、とアツコ先輩が僕の皿を見ながらぼやいているけれど、半分はふざけた様子だ。譲りませんよ、と僕はテーブルに置いたタルトをのせた皿を腕で囲った。

三年生も一年生、特に正也ががんばったことはわかっている。ケーキを譲ってくれたように、東京行きも一年生優先にしてくれないだろうか、なんて思ってしまう。

だけど、そんな都合のいい展開にはならないはずだ。むしろ、三年生だけで東京に行くことの後ろめたさをごまかすために、ケ

キくらいは先に取らせてあげようという魂胆なのではないか。

^②譲りませんよ、は向こうの台詞だ。

東京行きの話を、月村部長はどう切り出すのだろうと、緊張感を持ってミーティングに臨んだはずなのに、ケーキを食べているあいだは気を緩めてしまっていた。気まずい話はそういうときに、突然始まるものだ。

「これ、サイコー」

スズカ先輩が三層に分かれたチーズケーキを食べながら、うっとりした表情でつぶやいた。どれどれ、と両隣のヒカル先輩とジュリ先輩が、そのケーキに自分のフォークを刺して、一口すくった。

「そういえば、昨日、ネットでちよつと調べてみたんだけど、J B Kホールの近くに美味しいチーズケーキのお店があるんだって」ジュリ先輩が言った。

「えーっ、行きたい。みんなで行くよ。それくらいの自由時間ってあるよね？」

アツコ先輩がはしゃいだ様子で a を挟み、月村部長に訊ねた。

「うん、まあ……」

曖昧に部長が頷いたそのときだった。

^③「それ、本気で言ってるんですか？」

厳しい声が響いた。

正也の友だちでも同級生でもない。だけど、正也を全国大会に連れて行かないのはおかしいと思っている。そして、間違ったことは正さないといけない。そう考えているのだろうか。

白井先輩が立ち上がった。

「おとといは、先輩たち、感極まって深く考えずに、みんなで東京に行けるって喜んでいて思ったんです。だけど、今日になってもまだそう思っているなんて」

白井先輩の剣幕に押され、三年生の先輩たちは全員、フォークを置いた。

「できれば仲良し五人組全員で行きたい。その気持ちはわかります。でも、『ケンガイ』は宮本くんがいたからできた作品です。どうして宮本くんが行くという選択肢を、勝手に外しているんですか？」

三年生の先輩たちは皆、俯いてしまった。だけど、今日ばかりは同情しない。そうだ、と口には出せないけれど、僕は大きく頷いてみた。

「だって、毎年三年生が行ってるし……」

アツコ先輩がモゴモゴと言り返した。さっきまでの **b** 切れの良さはどこにもない。

「それは、三年生が中心になって作ったからじゃないですか」

白井先輩の言うことはいつも正しい。アツコ先輩は黙り込み、他の先輩たちも口を開こうとしない。

ガマン大会だ。

三年生の先輩たちは皆、正也が一番貢献したことくらい理解している。だけど、それを少しでも口にして、話し合いが持たれることになってしまうと困るのだ。一人外れる誰かを、決めなければならなくなるのだから。

私が行かなくやいんでしょ！なんて気持ちを昂ぶらせて、うっかり逆切れでもしてしまったら、即アウト。これ幸いと言わんばかりに周りは、ゴメンね、と泣きながらも、胸をなで下ろし、話を終わらせてしまいうに違いない。

黙っているのが一番。ズルいやり方だ。

正也はこうなることを予測して、今日は後ろの列に座ったのか。そつと振り返ると、なんと、ケーキを食べていた。三口ほどで食べられる大きさになったものを、フォークの先でちびちび削り取っては口に運んでいる。今、食べているのは、正也だけだ。

「黙っていても解決しません。話し合いをしようとしてもしないなんて。そんなふうだから、自分たちだけでは、マトモな作品が作れないんですよ」

白井先輩は容赦ない。ちよつとそれは、と隣でシュウサイ先輩が窘めたものの、白井先輩は三年生の先輩たちを睨みつけたままだ。

「……ドキュメント部門も、どつちか通過していればよかったのに」

アツコ先輩がつぶやいた。普段おしゃべりな分、黙り続けていることに耐えかねて、つい、うっかり、本音を漏らしてしまったのだろう。決して、反撃するつもりで言ったのではない、はずだけど……、それはダメだ。

⑤バン！と白井先輩は両手をテーブルに思い切り打ちつけると、まだケーキの残っている紙皿をアツコ先輩に向かって投げつけ、放送室から出て行った。

幸い、白井先輩が投げた食べかけのモンブランはアツコ先輩の手前、テーブルの上に落下した。

どちらかのドキュメント部門で通過していれば、と僕だって考えた。二年生は四人だから、そこに正也を入れてもらえたのに、と。だけど、そんなタラレバを言っても仕方ないということも、二年生の前で絶対に口にはいけないということだって、深く考えなくてもわかってる。

アツコ先輩だって、しまった、と思っっているはずだ。ケーキを投げられたことに文句を言わないのが、その証拠だ。

「あの、二年はこれから白井のあとを追いかけます。多分、中庭か図書室だと思うので」

そう言って、シュウサイ先輩が立ち上がった。それから、月村部長の方を向いた。

「二年が思っていることは、白井がほとんど言ったので、あとは残った人たちが決めてください。でも、一つ補足させてもらおうなら、がんばったのは宮本だけじゃない。一年生三人で確定して、残り二枠をくじ引きでもして決めればいいんじゃないですか？ 留守番組の方が多ければ、今ほどギクシャクしないだろうし。じゃあ」

じゃあ、が示し合わせた合図だったかのように、ラグビー部先輩とミドリ先輩も立ち上がり、中途半端に残したケーキの皿をテーブルに置いたまま、放送室を出て行った。

シュウサイ先輩の提案は僕が一番理想とするものだけど、三年生の先輩たちが簡単に受け入れるとは思えない。

アツコ先輩、ヒカル先輩、ジュリ先輩、スズカ先輩が、無言のまま、どうするの？ と訊ねるような顔を月村部長に向けた。部長は少し空に目を遣り、意を決したような表情で口を開いた。

「私の代わりに、宮本くん、行ってくれないかな」

えっ、と三年生四人だけでなく、僕も驚きの声を上げてしまった。

「私、実は、お兄ちゃんにJ B Kに連れて行ってもらったことがあるの。だから……」

「やめてください！」

正也は静かに、だけど、力強く遮った。

「僕、東京に行きたいなんて、一度も言っていないんですけど」

正也は月村部長にまっすぐ向き合った。

「だけど……」

部長が口ごもる。確かに、僕も白井先輩も三年生の先輩たちも、正也の気持ちを確認していたわけじゃない。

「そりゃあ、何人でも参加可能なら、喜んで行くけれど、他に行きたい人を蹴落としてまで、とは思ってません。だから、くだらない言い争いを、宮本のために、なんていう理由で続けるのなら、今すぐやめてください」

「でも、いいの？ 本当に」

「僕は東京に行くために『ケンガイ』を書いたんじゃないやありません。どうしても伝えたい思いがあって、それを応募作として物語にする機会をもらえたから書いたんです。もちろん、それが県大会の予選を通過して、決勝で二位になって、全国大会に行けることになったのは、夢みたいに嬉しかった。だけど、その嬉しさは物語が多くの人に伝わって、もっと多くの人に聴いてもらえるチャンスを得たことに対してで、決して、東京に行けるからじゃない」

正也は落ち着いた口調で語ってはいるけれど、僕は正也の言葉の中に、怒りや悲しみを感じる。そして、僕自身も物語に本当の意味で向き合っていなかったことに、気付かされる。

東京に行かないかもしれないから。

そんなことを氣遣って、正也に連絡を取らなかったのがその証拠だ。大会終了後、普通に作品の話をするようになったのだ。「ケ

ンガイ」のこと、他校の作品のこと。

この場でだって、ケーキを食べながら、純粋に「ケンガイ」が評価されたことを喜び合い、反省会をすればよかったのだ。

なのに、みんなの頭の中には東京に行くことしかなかった。^⑥「ケンガイ」を置き去りにした東京行きなんて、正也にとっては何の価値もないのかもしれない。

(みなと 『湊かなえ『ブロードキャスト』角川書店より)

問1 —— ①「活躍」とは、正也が何をしたことを指しますか。十五字以内で具体的に答えなさい。

問2 —— ②について、「僕」は「向こう」が何を譲らないと考えたのですか。本文中から七字でぬき出しなさい。

問3 a・bに当てはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- 問4 — ③のように白井先輩が述べたのはなぜですか。その理由として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。
- ア 東京に行けるとまだはしゃいでいるだけではなく、一年生の正也が全国大会に行くという選択肢を勝手に外そうとしている三年生の先輩たちをとがめるため。
- イ まくしたるように三年生を非難する言葉を次々述べることで、仲のよい先輩たちにけんかをさせ、全国大会に行きたいという気持ちをなくさせるため。
- ウ 全国大会という機会を利用して、自由時間に皆でチーズケーキを食べに行こうとしている先輩たちを思いとどまらせ、もっと真剣まじめに全国大会に臨むようにさせるため。
- エ 全国大会であるにもかかわらず、自由時間に外出しようとしている三年生に対し、自分の同級生だからという理由で注意できない部長をたしなめるため。
- オ 部活動中であるにもかかわらず、自分たちの学年だけで楽しそうに話をしている三年生の先輩たちに、協調性がないことを気づかせるため。

問5 — ④「ズルいやり方」とはどのようなものですか。六十字以内で説明しなさい。

- 問6 — ⑤のような行動を白井先輩がとつたのはなぜだと考えられますか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。
- ア ドキュメント部門で二年生の作品が両方とも通過できなかったことを、アツコ先輩が持ち出したことに腹を立てたから。
- イ 普段から自己中心的な発言をして部活動の雰囲気かみきを悪くするアツコ先輩を、こらしめてやりたかったから。
- ウ 絶対に口にはいけないことかどうかを判断できず、いつも部員を不愉快ふげんかいにさせるアツコ先輩が許せなかったから。
- エ 自分が正しいことを言っているにもかかわらず、ばかにする態度をとるアツコ先輩にがまんがでまなくなつたから。
- オ いくら説得しても三年生の先輩の気持ちが変わらないことを知り、話し合いを少しでも早く終わらせたくなったから。

問7 — ⑥とありますが、『ケンガイ』を置き去りにした東京行きとはどういうことですか。その説明として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 「ケンガイ」の成功には一年生が大きく貢献したのに、その一年生を交えることなく誰が東京に行くかを二年生と三年生の先輩全員で相談していたこと。
- イ 他の人に東京行きをゆずってもいいという正也の発言をきっかけに、「ケンガイ」という作品の内容や評価から、誰が東京に行くかということに話題が移ったこと。
- ウ 東京に行きたい気持ちを正也が一度も口にしないのをいいことに、「ケンガイ」に貢献した正也をぬきにして、東京に行くメンバーを選ぶことだけに部員が熱中していたこと。
- エ 「ケンガイ」という作品の内容や評価に触れることなく、東京に誰が行くのかということだけに部員の関心が向いていたということ。
- オ 「ケンガイ」が一位になれず落ちこんでいる正也に気を遣い、みんながあえて作品の話には触れずに東京に行くことだけを話題にしたこと。

問8 正也にとって「ケンガイ」が全国大会に出ることはどのような意味があると考えられますか。五十五字以内で答えなさい。

このページに設問はありません